

SNW 佐賀大学生の九電玄海原子力発電所見学会詳細報告

令和2年1月23日

(世話役) 梶村順二

1. 日時：令和2年1月17日（金）10:05～17:20
2. 見学場所：佐賀県玄海町 九州電力玄海原子力発電所
3. 大学側世話役：光武雄一、海洋エネルギーセンター教授
4. 大学からの参加：光武教授、学生 20 名
5. 同行シニア：梶村順二（西日本技術開発、元九電）
6. 九州電力担当：佐賀支社広報G 中村英喜副長
7. 行程（バスで移動）
 - 10:05～ 佐賀大学 発（車中でパンフ（「第5次エネルギー基本計画が目指すもの」等を説明）
 - 11:45～12:40 玄海海上温泉パレア（昼食）
 - 13:00～15:30 玄海エネルギーパーク見学、発電所入構手続き、発電所構内バス見学（発電所設備、安全対策）、原子力訓練センター見学、玄海エネルギーパークにて質疑応答等、
 - 17:20 佐賀大学 着



構内は撮影禁止、記念集合写真



PRセンターで原発内部の構造を説明

8. 経費等の分担

- ・バス：九電殿の広報活動の一環として大型バス提供。
- ・交通障害保険（50円/人）、昼食（1050円/人）：SNW（西郷会計幹事から学会へ申請済）

9. 事後アンケート&感想:集計結果(学生 20 名、先生 1 名)、理由や内容は主なもののみ。

(1) 見学の内容は満足のいくものでしたか?その理由は?

- ・とても満足した (14)・ある程度満足した (7)・やや不満だ (0)・大いに不満だ (0)
- 理由
- ・原子力発電所について丁寧に説明していただいて理解が深まった。エネルギーパークの他の設備もよくみてみたいと思った。
 - ・燃料集合体交換作業をする前に訓練センターで訓練することがわかって安全管理が徹底されていることが感じられた。実際の発電所内は見られなかったけれど訓練センター内の安全管理でイメージがわいた。
 - ・原子力発電設備の安全対策の様子がよく理解できた。
 - ・原発の構内という普段決して見ることのできない所を見学できたから。

(2) 新しい知識や情報がえられましたか?

- ・沢山得られた(11)・ある程度得られた (10)・得られなかった (0)
- 内容
- ・授業で習った知識と今日の説明で得られた知識がつながっていくのが凄くおもしろかった。安全設備については全く知らなかった新しい情報がたくさん得られた。
 - ・燃料棒内にウランがどのように入っているのか、事故の原因などの話が聞けたから。
 - ・実際に原子炉模型を見ることができたので、今まで習ってきた以上に、目で見て確認することができました。
 - ・原発の安全対策がいかに厳重になされているか知ることができたから。

(3) 共感・感動・見応えがありましたか?

- ・大変あった (12)・ある程度あった (8)・あまりなかった (1)・ほとんどなかった (0)
- 内容
- ・エネルギーパークにある展示は分かりやすく、見応えがあったと思った。
 - ・発電所構内に入ることができたことに感動しました。
 - ・原子炉の大きさに驚いた。
 - ・巨大な建屋など見応えのある施設が沢山あった。
 - ・シミュレーション等、様々な取り組みを知ることができた。
 - ・鉱石にブラックライトをあてて含まれているウランが光ることに感動した。
 - ・実際の訓練をみることができ、安心感を得た。

(4) 印象に残ったことは何ですか?

- 内容
- ・安全設備について、自分が創造していた以上に安全についての配慮がされていて、今までなんとなく原子力発電は危険だと思っていたが、すごく安全なのではないかという気持ちになりました。
 - ・将来、燃料の完全リサイクルでずっと使い続けられるようになるかもしれないと感じた。
 - ・シミュレーションなどを見ることができ、安全対策にも力を入れていることがわかり安心しました。

- ・各設備が大きいことが印象に残っている。
 - ・津波対策に福島事故の教訓が生かされていること。
 - ・発電所のスケールと安全対策。
 - ・原子炉実物大模型、ウラン鉱石の展示
 - ・警備が結構すごかった。
- (5) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030年に発電電力量の20～22%）とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？
- ①(3) 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。
 - ②(17) 原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった。
 - ③(0) 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。
 - ④(0) 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
 - ⑤(1) その他(理由: この見学ではコスト面、リスク面の優位性が伝わってこなかった)
- (6) 感想などを自由に書いてください。
- ・原子力発電への理解が深まり、興味もわいた。今日参加してよかったと思う。
 - ・1～3年生の間で習ったことを、実際に目で見て話しを聞くことができたのでよかった。
 - ・貴重な体験をすることができた。日本のエネルギーについてもっと知りたいと思った。
 - ・これからも安全運転を続けてほしいと思った。
 - ・今回の貴重な体験を今後の進路選択の材料としたい。
 - ・発電所の内面を知ることができて満足しました。
 - ・貴重な体験ができた半面、原発の目の前に来た割に原発の存在感を感じるができなかったのが残念だった。
 - ・一生にもう二度とないような体験ができました。
 - ・原子力に興味がわきました。ありがとうございました。

10. まとめ

この日のバス見学会は機械システム工学科の特別講義「エネルギーと地球温暖化」の13コマを受講し理解が進んだ段階での見学会であったからか、学生からの質問が少なかった。

しかしながら、アンケート結果を見ると原子力発電所の建物・設備や実物大の原子炉、燃料集合体などを自分の目で見ることにより、発電所の規模や安全対策を実感し原子力発電所の必要性の理解がより深められたとのこと。今回の貴重な体験を通して原子力に興味がわいた学生もおり、原子力発電所見学会の効果は大いにあることが確認された。

以上